

授業科目区分		科目名		単位	科目コード	開講時期	履修条件		
修学基礎教育課程 修学基礎科目 修学基礎		修学基礎B Basic Style for Study B		2	G002-01	2期(後学期)	修学規程第5条別表第2を参照		
担当教員名		研究室	内線電話番号	電子メールID			オフィスアワー		
授業科目の学習教育目標									
キーワード		学習教育目標							
1	KITポートフォリオ	キャリアデザインの重要性を理解し、本学で獲得すべき能力を設定するために「キャリアポートフォリオ」などを活用して、主体的に行動できる態度を身につけることができる。入学後の修学・生活を自省し、以後の修学意欲を高めるために、学習や生活に取り組む態度と方法の重要性を「修学ポートフォリオ」「達成度自己評価ポートフォリオ」の作成や自己管理と共同の実践を通して認識し、自己実現に向かって、積極的かつ実践的な行動を継続する能力を身につけることができる。							
2	キャリアデザイン								
3	日本語表現力								
4	1年間の評価と目標設定								
5	個人面談								
授業の概要および学習上の助言									
<p>1. 毎日「1週間の行動履歴」を記録し、KITポートフォリオ(web上)に入力することによって、自己管理を身につける。</p> <p>2. 進路部長講話とキャリアデザイン講話を聴講し、キャリアデザインの基本事項を知るとともに、自らの将来展望について考えるきっかけを得る。</p> <p>3. 自己開発センター講話を聴講し、自己のキャリアデザインに即した自学自習のあり方を考える。</p> <p>4. 工大祭のときに、自己の所属する学部・学系・学科の研究室を調査し、専攻選択とキャリアデザインを考える。さらにグループ討議・発表を行う。学科によっては研究室概要の説明会を開催する場合がある(別途案内)。</p> <p>5. 専門課程での履修条件や進級条件を再度確認し、自己のキャリアデザインに沿って4年間の履修計画を作成する。</p> <p>6. 担当教員による自由講義・演習を実施する。</p> <p>7. 個人面談において、1年間の生活・修学を振り返り、2年次への準備を行う。</p> <p>①科目のホームページを必ず見ること。http://edu1.kanazawa-it.ac.jp/shugaku/②出席・提出物の締切を守ること。レポートなどの作成にあたっては指定の書式を厳守すること。</p>									
【教科書および参考書・リザーブドブック】									
教科書：修学基礎2012[金沢工業大学] 参考書：指定なし リザーブドブック：指定なし									
履修に必要な予備知識や技能									
<p>1. 「KIT IDEALS」を理解し実践する意志</p> <p>2. 「学生宣言」を理解し実践する意志</p> <p>3. 金沢工業大学「人間力」を身に付ける意志</p> <p>4. 日本語表現力</p> <p>5. レポートの書式設定</p>									
No.	学科教育目標 (記号表記)	学生が達成すべき行動目標							
①	A, B	「1週間の行動履歴」を作成するとともに、1年間の達成度評価と次年度の目標と対応を文章で報告することができる。							
②	A, B	講話の内容を整理し、それに対する自己の見解を文章で作成することができる。							
③	A	グループ討議を通して問題点を見出し、自己の見解を口頭および文章で表現することができる。							
④	A	キャリアポートフォリオを通して、履修計画・将来の展望を具体的に考え、文章で報告することができる。							
⑤	A, B	時間を守る、提出物の締切を守る、ルールやマナーを守る、グループ活動で協力する態度を実践することができる。							
⑥	A, B	本科目の教育目標を理解し、本教育目的・目標を実践することができる。							
達成度評価									
評価方法		試験	クイズ 小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計
指標と評価割合									
総合評価割合		0	0	35	13	0	47	5	100
総合力 指標	知識を取り込む力	0	0	10	0	0	0	0	10
	思考・推論・創造する力	0	0	10	0	0	0	0	10
	コラボレーションとリーダーシップ	0	0	0	5	0	0	0	5
	発表・表現・伝達する力	0	0	10	8	0	0	0	18
	学習に取り組む姿勢・意欲	0	0	5	0	0	47	5	57

※総合力指標で示す数値内訳は、授業運営上のおおよその目安を示したものです。

評価の要点

評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点
試験	①	
	②	
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	
クイズ 小テスト	①	
	②	
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	
レポート	①	●課題① 文章作成B (10点)
	②	●課題② リサーチ・ペーパー (10点)
	③	●課題③ 研究室調査用紙 (5点)
	④	●課題④～⑥ 聴講ノート(4)～(6) (2点×3 =6点)
	⑤	●課題⑦ 4年間の履修計画 (4点)
	⑥	
成果発表 (口頭・実技)	①	●課題⑧ グループ討議メモ用紙(2) (5点)
	②	●プレゼンテーションの成果(2)・(3) (4点×2 =8点)
	③	レ
	④	レ
	⑤	レ
	⑥	
作品	①	
	②	
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	
ポートフォリオ	①	レ ●行動履歴 (2点×16週) ※教室での授業ごとに提出
	②	●課題⑨ キャリアポートフォリオ (4点)
	③	●課題⑩ 学習内容の達成度自己評価 (後学期) (5点)
	④	レ ●課題⑪ 1年間の達成度自己評価 (6点)
	⑤	レ
	⑥	レ
その他	①	レ ●5点満点で、受講態度の欠如(遅刻、学習意欲、など)が見られる場合、その都度1点減点する。
	②	レ ●6回以上の欠席はF判定となる。
	③	レ ●講話の遅刻者・欠席者は後日ビデオを視聴する。
	④	レ ●個人面談の無断欠席者は14・15回目の授業を欠席扱いとする。
	⑤	レ
	⑥	レ

具体的な達成の目安

理想的な達成レベルの目安	標準的な達成レベルの目安
<ul style="list-style-type: none"> ●「1週間の行動履歴」を記録し、自省することにより、次週への目標を明確に記すことができる。 ●講話を聞きながら要点を整理し、後に自分の意見と照らし合わせながら講話の内容をまとめることができる。 ●自分の意見を他者の意見と対比させながら明確に述べ、まとめて述べるすることができる。 ●自己分析を通して、自己のキャリアデザインを明確にでき、キャリア形成への積極的な態度を身につけている。 ●本科目における学生の達成すべき行動目標を自己評価し、明確に記すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「1週間の行動履歴」を記録することができる。 ●講話の内容を箇条書きでまとめることができる。 ●他者の意見を聞いてまとめることができる。 ●自己分析を通して、自己のキャリアデザインを描いている。 ●本科目における学生の達成すべき行動目標を自己評価し、記すことができる。

授業明細表

CLIP学習プロセスについて

一般に、授業あるいは課外での学習では：「知識などを取り込む」→「知識などをいろいろな角度から、場合によってはチーム活動として、考え、推論し、創造する」→「修得した内容を表現、発表、伝達する」→「総合的に評価を受ける、Good Work!」：のようなプロセス（一部あるいは全体）を繰り返しながら、応用力のある知識やスキルを身につけていくことが重要です。このような学習プロセスを大事に行動ください。※学習課題の時間欄には、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習時間全体としては、各授業に応じた時間（例えば2単位16週科目の場合、予習2時間・復習2時間/週）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。

回数 日付	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	時間(分)※
第1回 /	<p>●進路部長講話（講師：外崎 明 進路部長） 講話「本学におけるキャリアデザインのための援助」を聴講し、今後の進路選択について、具体的な方向性を考える。</p> <p>【持参物】 『修学基礎2012』、『CAMPUS NOTE 2012』、『CURRICULUM GUIDE BOOK 2012』</p>	<p>多目的ホールで講話を聴講し、メモを取る。 [遅刻者の入場は認めず、欠席者とともに後日ビデオ視聴する]</p> <p>【提出物】 ・1週間の行動履歴 ・課題④聴講ノート(4) [時間内にまとめることができなかつた場合は、次週の授業までに修学アドバイザーの研究室に提出する]</p>	<p>【課題】 ・1週間の行動履歴 ・課題①文章作成B [返却された草稿の添削を参考に推敲する。] ・課題⑩学習内容の達成度自己評価(前学期) [各課題の提出・返却の都度、それぞれの課題の達成度を自己評価する]</p>	30 150 60
第2回 /	<p>●キャリアデザイン講話（講師：未定 [外部講師]） 講話を聴講し、要点をまとめることによって、キャリアデザインに関する基本事項を知り、今後の進路選択について自ら考えるきっかけとする。</p> <p>【持参物】 『修学基礎2012』、『CAMPUS NOTE 2012』、『CURRICULUM GUIDE BOOK 2012』</p>	<p>多目的ホールで講話を聴講し、メモを取る。 [遅刻者の入場は認めず、欠席者とともに後日ビデオ視聴する]</p> <p>【提出物】 ・1週間の行動履歴 ・課題⑤聴講ノート(5) [時間内にまとめることができなかつた場合は、次週の授業までに修学アドバイザーの研究室に提出する]</p>	<p>【課題】 ・1週間の行動履歴 ・課題⑨キャリアポートフォリオ [キャリアデザインに関する2回の講話を踏まえて作成し、次回のグループ討議に持ち寄る]</p>	30 120
第3回 /	<p>●グループ討議：「キャリアデザインの必要性」 ・指定されたテーマでグループ討議を行い、キャリアデザインの必要性について、自他の意見をまとめる。 ・それぞれの意見の理由や背景を考え、グループとしての意見にまとめあげる。</p> <p>【持参物】 キャリアポートフォリオ(課題⑨)、『修学基礎2012』、『CAMPUS NOTE 2012』、『CURRICULUM GUIDE BOOK 2012』</p>	<p>指定教室での講義・演習</p> <p>【提出物】 ・1週間の行動履歴</p>	<p>【課題】 ・1週間の行動履歴 ・課題⑨キャリアポートフォリオ [グループ討議の内容を踏まえて完成させる]</p> <p>【自学自習(復習)】 ・キャリアデザインに関わる2回の講話内容について、自分の考察を深める。</p>	30 60 120
第4回 /	<p>●グループ作業・討議：「研究室調査」 キャリアデザインの観点から、興味を持った研究室について調査を行い、さらに、グループのメンバー間で意見を交換することで、専門分野を選択することについて具体的に考える。</p> <p>【持参物】 『修学基礎2012』、『CAMPUS NOTE 2012』、『CURRICULUM GUIDE BOOK 2012』、ノートパソコン</p>	<p>指定教室での講義・演習</p> <p>【提出物】 ・1週間の行動履歴 ・課題⑩キャリアポートフォリオ</p>	<p>【課題】 ・1週間の行動履歴 ・課題③研究室調査用紙 [収集整理した研究室についての情報とグループ討議の内容をまとめる] ・グループ討議、および、プレゼンテーションの準備を進める。</p>	30 120 180
第5回 /	<p>●キャリアデザインと研究室調査結果に関するグループ討議結果の発表 ・2回にわたって行ったグループ討議と課外グループ活動で検討し、準備した事項について発表する。また、他のグループの意見を検討する。 ・発表では、これまでにプレゼンテーションについてこれまでに学んだことを活かす。発表された意見、その意見に至った経緯をメモし、自己の意見との類似点や相違点をまとめ、クラスで議論する。 [発表は「プレゼンテーションの成果(2)」として採点対象となる]</p> <p>【持参物】 『修学基礎2012』、『CAMPUS NOTE 2012』、『CURRICULUM GUIDE BOOK 2012』、ノートパソコン(発表用)</p>	<p>指定教室での講義・演習</p> <p>【提出物】 ・1週間の行動履歴 ・課題③研究室調査用紙</p>	<p>【課題】 ・1週間の行動履歴</p> <p>【自学自習(復習)】 ・キャリアデザインに関わるこれまでの検討を踏まえ、自分のキャリアデザインについての考察を深める。</p> <p>【自学自習(予習)】 ・次回からのリサーチ・ペーパー演習に向けて、アカデミックライティングについて『修学基礎2012』などを読んで確認する。</p>	30 120 120
第6回	●文章作成演習(第6～8回)	指定教室での講義・演習	【課題】	

授業明細表

回数 日付	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	時間(分)※
/	文章作成能力、特に、アカデミックな文書を作成する能力を、実際にリサーチ・ペーパーを作成することを通して実践的に向上させる。 【持参物】 『修学基礎2012』、ノートパソコン、その他修学アドバイザーが指示するもの、など	【提出物】 ・1週間の行動履歴	・1週間の行動履歴 ・課題①文章作成B ・課題②リサーチ・ペーパー	30 60 150
第7回 /	●文章作成演習(つづき) 【持参物】 『修学基礎2012』、ノートパソコン、その他修学アドバイザーが指示するもの、など	指定教室での講義・演習 【提出物】 ・1週間の行動履歴 ・課題①文章作成B	【課題】 ・1週間の行動履歴 ・課題②リサーチ・ペーパー	30 210
第8回 /	●文章作成演習(つづき) 【持参物】 『修学基礎2012』、ノートパソコン、その他修学アドバイザーが指示するもの、など	指定教室での講義・演習 【提出物】 ・1週間の行動履歴	【課題】 ・1週間の行動履歴 ・課題②リサーチ・ペーパー	30 210
第9回 /	●修学アドバイザーによる自由講義・演習 [リサーチ・ペーパー演習の進捗の度合いによつては、引き続きリサーチ・ペーパー演習を行う場合もある] 【持参物】 修学アドバイザーの指示するもの	指定教室での講義・演習 【提出物】 ・1週間の行動履歴	【課題】 ・1週間の行動履歴 ・課題②リサーチ・ペーパー	30 210
第10回 /	●自己開発センター講話(講師:堀岡雅清 教授) 講話「資格取得の勧め」を聴講し、資格を取得する意味について考察し、さらに、自らのキャリアデザインに沿って、資格取得を含めた課外活動について考える。 【持参物】 『修学基礎2012』	多目的ホールで講話を聴講し、メモを取る。 [遅刻者の入場は認めず、欠席者とともて後日ビデオ視聴する] 【提出物】 ・1週間の行動履歴 ・課題②リサーチ・ペーパー ・課題⑥聴講ノート(6) [時間内にまとめることができなかつた場合は、次週の授業までに修学アドバイザーの研究室に提出する]	【課題】 ・1週間の行動履歴	30
第11回 /	●専門課程と2年次以降に履修する科目 自らの専門課程を考慮して、2年次以降の履修計画を立案し、「4年間の履修計画」を作成する。 【持参物】 『修学基礎2012』、『CAMPUS NOTE 2012』、『CURRICULUM GUIDE BOOK 2012』、『金沢工業大学規則集2012』	指定教室での講義・演習 【提出物】 ・1週間の行動履歴 ・課題⑦4年間の履修計画	【課題】 ・1週間の行動履歴 ・課題⑧グループ討議メモ用紙(2)	30 60
第12回 /	●グループ討議:1年間の反省と今後の展望について ・1年間の修学生生活を振り返り、自らの反省と改善、将来へのキャリアデザインなどを総合的に反省する。 ・2年次以降の修学生生活をより充実したものにするために、その反省を基に班のメンバー間で討議し、他者の意見を聴くことによつて自らの具体的な修学生生活を自覚する。 【持参物】 『修学基礎2012』、『CAMPUS NOTE 2012』、『CURRICULUM GUIDE BOOK 2012』	指定教室での講義・演習 【提出物】 ・1週間の行動履歴	【課題】 ・1週間の行動履歴 ・グループ討議、および、プレゼンテーションの準備を進める。	30 210
第13回 /	●討議結果の発表 ・前回の授業と課外グループ活動で検討し、準備した事項について発表する。また、他のグループの意見を検討する。 ・発表では、これまでに学んだプレゼンテーションの基本技術を活かす。発表された意見、その意見に至った背景をメモし、自己の意見との類似点や相違点をまとめ、クラスで議論する。 [発表は「プレゼンテーションの成果(3)」として採点対象となる]	指定教室での講義・演習 【提出物】 ・1週間の行動履歴 ・課題⑧グループ討議メモ用紙(2)	【課題】 ・1週間の行動履歴	30

授業明細表

回数 日付	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	時間(分)※
	<p>【持参物】 『修学基礎2012』、『CAMPUS NOTE 2012』、『CURRICULUM GUIDE BOOK 2012』、ノートパソコン(発表用)</p>			
第14回 /	<p>●個人面談(第14～15回) 「1年間の自己の評価と今後の展望」を口頭で報告し、修学アドバイザーからのアドバイスをもらう。 [1月中旬から2月はじめごろに実施される個人面談の出欠は、第14・15回の出欠となる]</p>	<p>面談</p> <p>【提出物】 ・1週間の行動履歴 [修学アドバイザーが指定する日時に提出する]</p>	<p>【課題】 ・1週間の行動履歴 ・課題⑩学習内容の達成度自己評価(後学期) ・課題⑪1年間の達成度自己評価</p>	<p>30 30 90</p>
第15回 /	<p>●個人面談(つづき)</p>	<p>面談</p> <p>【提出物】 ・1週間の行動履歴 ・課題⑩学習内容の達成度自己評価(後学期) ・課題⑪1年間の達成度自己評価 [いずれの課題も、修学アドバイザーが指定する日時に提出する]</p>	<p>【課題】 ・1週間の行動履歴 ・修学基礎HPから、授業アンケートに回答する。</p>	<p>30 30</p>
第16回 /	<p>●自己点検授業 「修学基礎A」「修学基礎B」の履修を通して得られたこと、今後に向けての課題として明らかになったことなどを確認する。</p> <p>【持参物】 『修学基礎2012』、それまでに返却された課題、他</p>	<p>自己点検授業 出席および課題提出の状況などを確認し、自らの成果を振り返り反省する。</p> <p>【提出物】 ・1週間の行動履歴</p>	<p>【課題】 ・1週間の行動履歴 ・修学アドバイザーからのコメントをweb入力していない場合は、次年度前学期オリエンテーションまでに入力を行う。</p>	<p>30 90</p>